

# 伊集院保健所感染症情報

2024年第10週（令和6年3月4日～令和6年3月10日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippe@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiki/kagoshima/index.html>

## ● 定点把握感染症

管内警報発令：A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

管内注意報発令：インフルエンザ

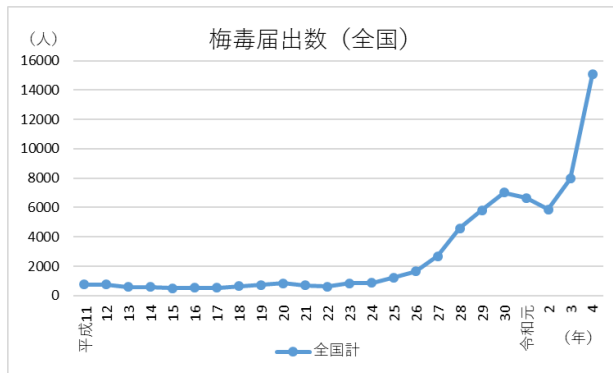
定点医療機関【インフルエンザ5，小児科3，基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第7週	第8週	第9週	第10週	先週からの増減	第9週	前週からの増減
インフルエンザ	30	10	10	21.60	12.40	16.40	18.00	↗	11.76	↘
COVID-19	-	-	-	11.00	7.80	6.80	11.80	↗	5.47	↘
咽頭結膜熱	3	1	-	1.33	2.67	2.67	2.33	↘	4.49	↗
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-	2.00	3.00	2.67	9.00	↗	4.45	↗
感染性胃腸炎	20	12	-	4.33	3.67	2.33	1.67	↘	7.25	↘
水痘	2	1	1	0.00	0.00	0.33	0.00	↘	0.29	↗
手足口病	5	2	-	0.00	0.00	0.00	0.67	↗	0.90	↗
伝染性紅斑	2	1	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	↘
突発性発しん	-	-	-	0.33	0.00	0.00	0.33	↗	0.29	↗
ヘルパンギーナ	6	2	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.12	↘
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.02	↗
R S ウイルス感染症	-	-	-	0.00	0.33	0.00	0.33	↗	0.41	↗
基幹定点からの届出状況	該当なし									
インフルエンザ入院サーベイランス	該当なし									
COVID-19入院サーベイランス	該当なし									
全数報告（かっこ内は本年の累積数）	該当なし									
※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし， 注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし										

## ● TOPIC 梅毒の報告が増加しています！

現在、2024年の管内における梅毒報告数は3例となっており、梅毒の全国の届出数（下図）と同様、急増しています。梅毒は、梅毒トレポネーマという細菌が原因の感染症で、主に性的接触により伝播する性感染症です。感染すると、口の中や性器、肛門にしこりができたり、股の付け根部分のリンパ節が腫れたり、全身に発疹がでたりします。これらの症状は自然に軽快しますが、梅毒が治ったわけではありません。検査や治療が遅れたり、治療せずに放置したりすると、脳や心臓に重大な合併症を起こすことがあります。梅毒は早期の適切な治療で完治が可能です。梅毒が疑われる症状や、感染の心当たりがあれば、早めに医療機関を受診しましょう。

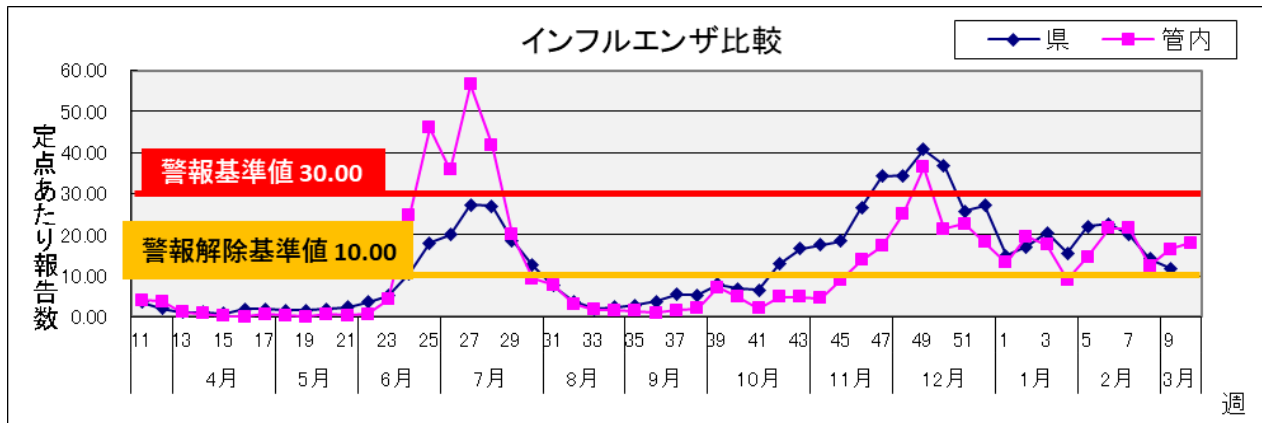
また、完治後も新たに感染することもありますので、コンドームの使用やパートナーも治療するなど適切な対策を取りましょう。



※国立感染症研究所感染症発生動向調査より（令和4年は暫定値）

## ● 注意すべき感染症

### ・インフルエンザ（県内警報、管内注意報発令中！）

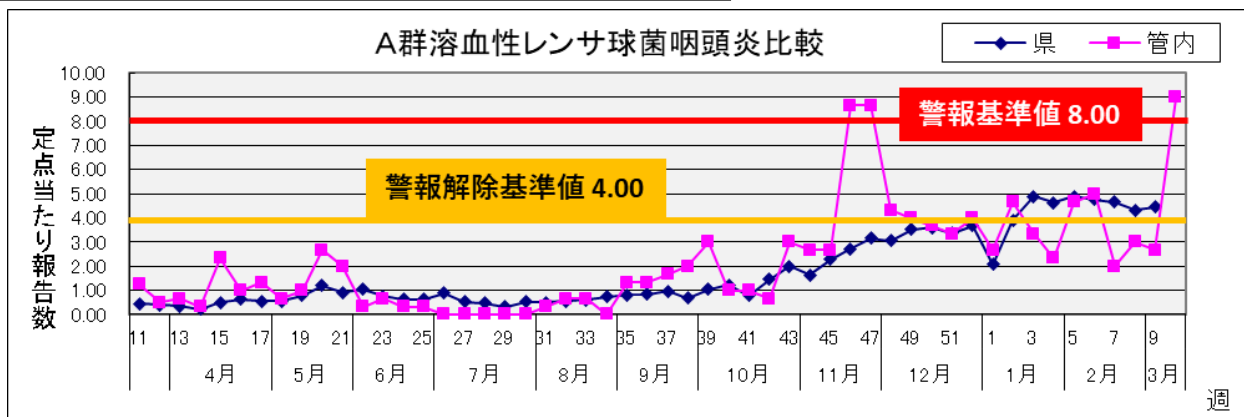


今週の伊集院保健所管内におけるインフルエンザの報告数は、前週の82人（定点あたり16.40）から8人多い90人（18.00）でした。年齢別では、10～14歳（37人）、4歳（8人）、15～19歳（7人）の順に多い報告でした。

小児ではまれに急性脳症を、御高齢の方や免疫力の低下している方では二次性の肺炎を伴うなど重症になることがあり、それぞれ注意が必要です。

★罹患後の登校基準：発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過してから（学校保健安全法）。

### ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（管内警報発令中！）



前週の伊集院保健所管内におけるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は、前週の8人（定点あたり2.67）から19人多い27人（9.00）に増加し、警報基準値の8.00を超えました。年齢別では、6歳（6人）、4歳・7歳（各4人）、2歳・3歳（各3人）でした。

感染すると、2～5日の潜伏期間を経て、突然の発熱や全身倦怠感、咽頭痛で発症し、舌が莓のようになくザラザラとした状態になることもあります。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛まつ感染」、あるいは、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」が主な感染経路です。予防には、患者と濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう。

#### 感染症予防のポイント

- ①咳エチケット（口・鼻を覆う） ②「液体石けん・流水による手洗い」が「手指消毒」  
③換気 ④集団生活の場合は、共用部分の消毒 基本的な感染対策を！

#### ○学校における感染症による出席停止の状況 3/4～3/10（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週のインフルエンザによる出席停止は、前週の87人から24人多い111人、COVID-19による出席停止は、前週の18人から5人多い23人報告されています。

また、流行性角結膜炎、溶連菌感染症も報告されています。

自治体名	疾患名	インフルエンザ	インフルエンザA型	インフルエンザB型	流行性角結膜炎	溶連菌感染症	新型コロナウイルス感染症
日置市		48	0	30	1	1	18
いちき串木野市		4	0	29	0	0	5
三島村		0	0	0	0	0	0
十島村		0	0	0	0	0	0
計		52	0	59	1	1	23